

過敏性腸症候群（IBS）の認知行動療法の臨床研究にご協力ください

過敏性腸症候群に対する臨床研究にご協力いただける方を募集しています。

過敏性腸症候群（IBS）とは？



腸に明らかな病変がないにもかかわらず、長期間にわたって、腹痛・下痢・便秘などが続く消化器疾患です



IBSで下記の症状の方に研究への参加をお願いしています

- ✓ お腹の調子が悪くなるので、外出するのが怖い
- ✓ 会議や電車など、お腹が原因で日常生活に支障がある




研究内容は？

本研究では、IBSに対して標準的治療に加えて認知行動療法（考えと行動にはたらきかける心理療法）を実施すると効果があるかを検証します。

ご参加いただける方

1. これまでIBSの治療を受けた経験があり、かつ現時点においても症状が残っている方（症状が中程度以上の方）
2. 年齢が16歳以上の方
3. 本研究の目的、内容を理解していただける方

★上記以外にも研究に参加いただくための基準があります

実施場所	国際医療福祉大学成田病院（千葉県成田市）		←アクセス
募集期間	2022年10月～2022年12月末		
協力機関	約4か月（定期的な通院）+郵送でアンケート		
治療費	「標準的治療」には通常の保険診療費がかかります。 それ以外は、研究参加費として無料です。		

お問合せ先：Eメールアドレス

ibs.cbt.iuhw@gmail.com



←EメールアドレスQRコード

「件名：研究案内希望」とした空メールをお送りください。研究の詳細をお知らせします。ご質問もお受けしております。お気軽にお問い合わせください。

※Gmailを受信できる環境から、送信をお願いいたします。

〒286-8520 千葉県成田市畑ヶ田852

研究課題名：過敏性腸症候群に対する認知行動療法の無作為化比較試験

研究代表者：安藤 哲也 担当者：江幡